

千葉科学大学 危機管理学部 危機管理システム学科・カリキュラムツリー

危機管理学部危機管理システム学科ディプロマポリシー

「学士（危機管理）」の学位を授与される者は、リスク・危機管理に関わる人間として、何より社会人として必要な教養と倫理観を備えることができる。

- A. 知識・理解 「学士（危機管理）」の学位を授与される者は、リスク・危機管理の基礎となる人文社会科学、自然科学の知識を備え、政府機関、地方公共団体、指定公共機関、企業及び人に關するリスク・危機管理に必要な基本的な知識や技能を身につけることができる。
- B. 汎用的技能 「学士（危機管理）」の学位を授与される者は、各コースに対応する専門的なリスク・危機管理の知識と技能を身につけることができる。
 1. 総合危機管理(企業・公務員)コースにおいては、特に、企業や自治体などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる能力を身につけることができる。
 2. 消防官・地域防災コースにおいては、特に、消防や地域防災などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる能力を身につけることができる。
 3. 警察官・犯罪科学コースにおいては、特に、地域治安の維持や犯罪捜査などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる能力を身につけることができる。
 4. 自衛隊・安全保障コースにおいては、特に、国家安全保障や平和維持活動などのリスク・危機管理の専門分野において必要とされる能力を身につけることができる。
- C. 態度・志向性 「学士（危機管理）」の学位を授与される者は、リスク・危機管理に関わる人間として、使命感と倫理観を持ち、社会に貢献できる
- D. 総合的な学習経験と創造的思考力 「学士（危機管理）」の学位を授与される者は、総合的な学習経験と創造的思考力を持ち、自ら社会における問題を積極的に発見し実践的に解決する能力とコミュニケーション能力を身につけることができる。



4年次	秋学期									卒業研究◎
	春学期									
3年次	秋学期	法学特別講義Ⅲ 地理情報(GIS)入門 出入国管理政策論 特別ビジネス講義	経済学特別講義Ⅱ 財政学 オーデイト論 ヒューマンエラーの心理学	金融リスク管理論 企業経営危機論Ⅳ				総合演習Ⅱ 総合演習Ⅰ		危機管理システム学演習Ⅱ◎ 危機管理システム学特講Ⅱ◎
	春学期	安全管理学 意志決定の科学 環境管理法体系	経済学特別講義Ⅰ 法学特別講義Ⅳ 法学特別講義Ⅱ	リスクマネジメント特論 企業経営危機論Ⅲ	都市災害論	犯罪学 警察法	安全保障概論Ⅱ 危機管理国際関係論	国際協力論 社会調査法 保険学 総合教養Ⅲ		危機管理システム学演習Ⅰ◎ 危機管理システム学特講Ⅰ◎
2年次	秋学期	危機管理関連法規 災害心理学 リスク評価論 リスク認知論	会計原理 防災教育論 経済危機論	危機管理政策論 企業経営危機論Ⅱ	自然災害論 市民防災論 災害対策論	警察演習	安全保障概論Ⅰ	論文作成◎ 総合教養Ⅱ 総合教養Ⅳ		危機管理システム学研究法Ⅱ◎
	春学期	法学特別講義Ⅰ リスク・コミュニケーション 人間行動学 危機管理技術論 消防と防災◎ 災害調査法	基礎統計学 経済情勢 簿記論 災害調査法	行政システム論 企業経営危機論Ⅰ	災害復旧・復興計画	科学捜査	安全保障組織論	総合教養Ⅰ リスクマネジメント◎ 専門文献講読◎		危機管理システム学研究法Ⅰ◎
1年次	秋学期	社会心理学 救命救助法入門◎ 災害情報論入門 危機管理と社会制度 危機管理学入門Ⅳ◎ 危機管理学入門Ⅲ◎	経済原論		消防学概論	警察学概論	安全保障学入門 情報社会とセキュリティ	教養ゼミナールⅡ◎		
	春学期	基礎数学演習 基礎数学 危機管理学入門Ⅱ◎ 危機管理学入門Ⅰ◎						教養ゼミナールⅠ◎ 情報リテラシー◎		
ディプロマポリシー	A. 知識理解			1. 総合危機管理	2. 消防・地域防災	3. 警察・科学捜査	4. 自衛隊・安全保障	C. 態度・志向性	D. 総合的な学習経験と創造的思考力	
				B. 汎用的技能						

ボランティア活動

一般基礎科目

プロジェクト学習

銚子学

※赤字は必修科目

4年次	秋学期	↑	卒業研究◎										↑	環境科学特別演習2◎				
	春学期													環境科学特別演習1◎				
3年次	秋学期	↑	日本語表現2	↑	日本語表現1	就業力育成特論 国際協力論ト	↑	野外調査法2 環境科学ゼミナール2	↑	アクアテクノロジー 環境アセスメント	海洋動物学 環境と生物	土壌の科学 自然地理学	環境変動論	循環型社会論	電気技術実習 装置・操作実習 保守・運転の応用	理科教育実践演習 理科教育法4	環境科学実験2◎	環境科学演習2◎
	春学期		日本語表現1		日本語表現2	キャリアデザイン2◎		地理情報(GIS) 入門		物理学実験◎ 地学実験◎	野外調査法1◎ 環境科学ゼミナール1◎ 環境基礎実習2◎	地球環境の化学	生物海洋学 バイオテクノロジー	環境変動論	自然災害論	廃棄物の処理	電気取扱いの科学 運転・操作実習 保守運転の基礎	理科教育基礎演習 理科教育法3
2年次	秋学期	↑	日本語4 韓国語2 中国語2 英文購読2 実用英会話2	↑	日本語3 韓国語1 中国語1 英文購読1 実用英会話1	キャリアデザイン2◎	CAD入門	物理学実験◎ 化学実験◎	↑	食品安全の化学 環境分析学 機器分析学	野生動物管理学 植物学 動物学	自然災害論	地域環境保全論 環境管理法体系	海洋船舶実習 風力発電実務	電気技術応用	教育理科演習4 教育理科演習3 理科教育法2 防災教育論	↑	環境科学実験1◎ 環境科学演習1◎
	春学期		日本語3 韓国語1 中国語1 英文購読1 実用英会話1		キャリアデザイン2◎	CAD入門	生物学実験◎ 化学実験◎	地球環境の化学		野生動物管理学 植物学 動物学	自然災害論	地域環境保全論 環境管理法体系	電気技術基礎	教育理科演習4 教育理科演習3 理科教育法2 防災教育論				
1年次	秋学期	↓	日本語理解2 日本語2 英語2	↑	日本語理解2 日本語2 英語2	危険管理入門4◎ 危険管理入門3◎ 危険管理と社会制度 救命救急法入門◎ 教養ゼミナール2◎ キャリアデザイン1◎ 銃子学◎	情報リテラシー	基礎統計学	↑	分析化学	生態学	大気圏科学 海洋の科学 環境地球科学	風力発電の科学	風力発電の電気工学Ⅱ 風力発電の機械工学Ⅱ	電気技術基礎	教育理科演習2 理科教育法1	↑	環境科学実験1◎ 環境科学演習1◎
	春学期		日本語理解2 日本語2 英語2		危険管理入門2◎ 危険管理入門1◎ 教養ゼミナール1◎	基礎数学演習◎ 基礎数学◎	分析化学	生態学		大気圏科学 海洋の科学 環境地球科学	風力発電の科学	風力発電の電気工学Ⅰ 風力発電の機械工学Ⅰ	電気技術基礎	教育理科演習2 理科教育法1				
目標				知識					技能・態度					思考力				
科目の種類	一般	学部共通	学科					環境科学コース					風力発電コース	理科教員コース				
	基礎科目							学科専門科目							総合科目			

【備考】 科目名の後に付された記号は、カリキュラムに関する必修科目(◎)であることを示し、無印は選択科目であることを示す。

千葉科学大学危機管理学部医療危機管理学科・カリキュラムツリー

医療危機管理学科の求める人材：高度福祉社会、高度医療社会に変遷しつつあるわが国のニーズに対応し、人の健康と生命を守ることに関連する様々な技術を学び、医療技術の面から安全・安心な社会の実現に貢献しようとする人
 ①人の命の大切さを理解できる ②倫理の重要性を理解できる ③協調性を有している ④医療や健康に関心を持ち、保健・医療の分野に貢献するという強い意欲を有する ⑤高等学校等における幅広い学修を通じて基礎学力を有している。

危機管理学部医療危機管理学科ディプロマポリシー

- A. 知識・理解
 「学士(危機管理)」の学位を授与される者は、自然科学の基礎的な知識と応用力を備えることができる。
- B. 汎用的技能
 「学士(危機管理)」の学位を授与される者は、医学における基礎知識を身につけることができる
 B-1 医学(臨床検査学)における専門知識と医療技術を身につけることができる。
 B-2 医学(臨床工学)における専門知識と医療技術を身につけることができる。
 B-3 医学(救急救命学)における専門知識と医療技術を身につけることができる。
- C. 態度・志向性
 「学士(危機管理)」の学位を授与される者は、医学・技術全般に関して、医療者・社会人として必要な知識を備え、コミュニケーション能力を取得し、チーム医療に貢献できる資質を身につけることができる。
- D. 総合的な学習経験と創造的思考力(自らが立てた新たな課題を解決する能力)
 「学士(危機管理)」の学位を授与される者は、実験・実習や講義課題等を通じて、自ら問題を論理的に実践的に解決し、伝える力を備えることができる。

医学系専門教育

一般基礎教育

4
年次

3
年次

2
年次

1
年次

卒業研究

臨床検査総合演習Ⅰ 臨床検査総合演習Ⅱ 血液検査Ⅱ実習 免疫検査実習Ⅱ	医療専門職連携発展 生化学分析検査Ⅱ実習 生理機能検査実習Ⅱ	医療専門職連携発展 生体機能代行装置学実習Ⅰ(代謝) 生体機能代行装置学実習Ⅱ(呼吸) 生体機能代行装置学実習Ⅲ(循環) 医用機器安全管理学実習 臨床工学総合演習Ⅰ	臨床病態学Ⅲ 臨床工学総合演習Ⅱ	医療専門職連携発展 救急救命総合演習Ⅰ 救急救命総合演習Ⅱ
--	--------------------------------------	---	---------------------	-------------------------------------

病院実務実習

病理検査学 血液検査Ⅰ 生化学分析検査Ⅰ 微生物検査Ⅱ 微生物・医動物学実習 免疫検査Ⅱ 臨床検査学総論Ⅰ 生理機能検査Ⅱ 検査機器総論Ⅰ 検査機器総論Ⅱ 臨床検査関連法規	病理検査学実習 血液検査Ⅰ実習 血液検査Ⅱ 生化学分析検査Ⅰ実習 生化学分析検査Ⅱ 微生物検査学実習 免疫検査学実習Ⅰ 臨床検査学総論Ⅱ 臨床検査学総論実習 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習Ⅰ	臨床病態学Ⅰ 電気・電子工学実験Ⅱ プログラミング 医用機械工学 生体物性工学 医用材料工学 医用機器学概論Ⅱ 医用治療機器学 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学Ⅰ(代謝) 生体機能代行装置学Ⅱ(呼吸) 生体機能代行装置学Ⅲ(循環) 医用機器安全管理学Ⅰ 臨床工学関連法規	臨床病態学Ⅱ コンピュータグラフィックス 医用機器学 生体物性工学 医用材料工学 医用機器学概論Ⅱ 医用治療機器学 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学Ⅰ(代謝) 生体機能代行装置学Ⅱ(呼吸) 生体機能代行装置学Ⅲ(循環) 医用機器安全管理学Ⅱ 臨床工学関連法規	救急・災害医療 臨床外科学Ⅱ 臨床外科学Ⅲ 臨床外科学Ⅳ 小児科学整形外科学 脳外科学 医学検査 シミュレーションⅢ 救急車同乗実習	臨床内科学Ⅵ 臨床内科学Ⅶ 臨床内科学Ⅷ 臨床内科学Ⅷ 産婦人科学 精神医学 シミュレーションⅣ
--	--	---	--	--	--

英文講読Ⅰ 生物学実験 化学実験 基礎統計学 総合教養Ⅰ リスクマネジメント 消防と防災 キャリアデザインⅡ 衛生学・公衆衛生学 病理学Ⅰ 医用工学概論 医用工学実習 医動物学 解剖学実習	英文講読Ⅱ 物理学実験 微生物検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅰ 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 微生物学 病理学Ⅱ 放射化学 薬理学 看護学 生理学実習 生化学実習	英文講読Ⅰ 生物学実験 物理学実験 基礎統計学 総合教養Ⅰ リスクマネジメント 消防と防災 衛生学・公衆衛生学 病理学Ⅰ 医用工学概論 医用工学実習 電気・電子工学Ⅰ 計測工学 医用機器学概論Ⅰ	英文講読Ⅱ 応用数学 応用数学演習 応用統計学 総合教養Ⅱ キャリアデザインⅡ 微生物学 病理学Ⅱ 放射化学 薬理学 看護学 電気・電子工学Ⅱ 電気・電子工学実験Ⅰ 計測工学演習 医用生体計測装置学 基礎医学実習	英文講読Ⅱ 総合教養Ⅰ 総合教養Ⅱ リスクマネジメント 消防と防災 キャリアデザインⅡ 衛生学・公衆衛生学 病理学Ⅰ 救急医学概論Ⅰ 臨床外科学Ⅰ シミュレーションⅠ	英文講読Ⅱ 総合教養Ⅱ キャリアデザインⅡ 微生物学 病理学Ⅱ 薬理学 看護学 救急医学概論Ⅱ 臨床内科学Ⅰ 臨床内科学Ⅱ 臨床内科学Ⅲ シミュレーションⅡ
---	---	--	---	---	---

臨床検査学コース専門科目

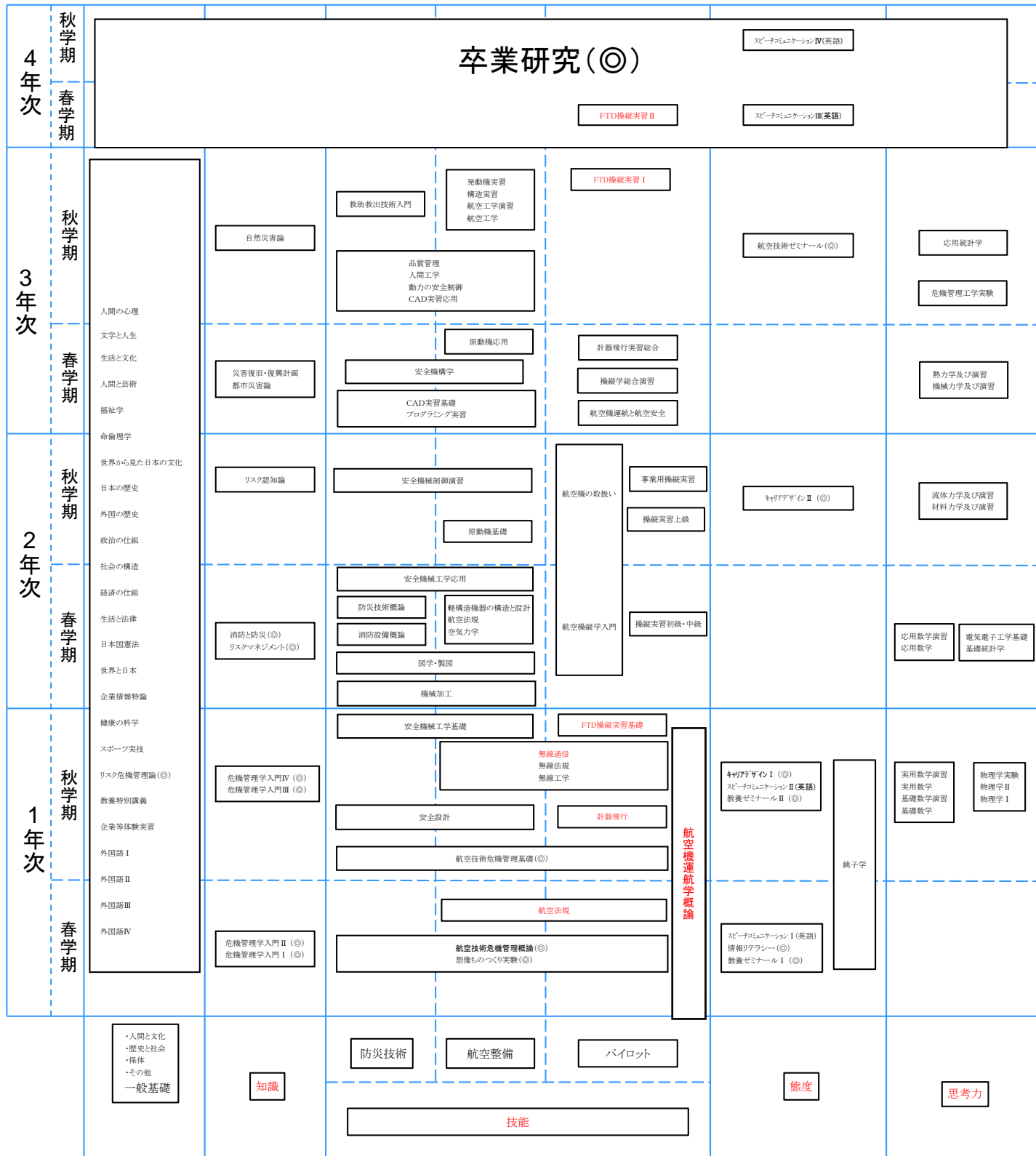
臨床工学学コース専門科目

救急救命学コース専門科目

医学系入門

人間の心理 文学と人生 生活と文化 人間と芸術 福祉学 生命倫理学 世界から見た日本の文化 日本の歴史 外国の歴史 政治の仕組み	社会の構造 経済の仕組み 生活と法律 日本国憲法 世界と日本 企業情報特論 健康の科学 スポーツ実技 リスク危機管理論 教養特別講義 企業等体験実習 鏡子学	英語Ⅰ 生物学Ⅰ 化学Ⅰ 教養ゼミナールⅠ 危機管理学入門Ⅰ 解剖学Ⅰ 生化学Ⅰ	基礎数学 情報リテラシー 物理学Ⅰ 危機管理学入門Ⅱ 危機管理学入門Ⅲ 救命救護法入門 生理学Ⅰ 医学概論	英語Ⅱ 生物学Ⅱ 化学Ⅱ 教養ゼミナールⅡ 危機管理学入門Ⅳ 救命救護法入門 キャリアデザインⅠ 生理学Ⅱ 生化学Ⅱ 免疫学
---	---	--	--	---

千葉科学大学危機管理学部航空技術危機管理学科・カリキュラムツリー



航空技術危機管理学科ディプロマポリシー

航空技術危機管理学科では、航空機の運航(航空機操縦、航空機整備)に関する知識と技術又は防災に関する知識と技術を学び、安全・安心な社会の構築に寄与する態度や思考力を身につけた者に学士(危機管理)の学位が授与される。

知識

- ・ものづくりや機械の取扱いに関する基礎的知識
- ・航空機操縦、航空機整備に関する専門知識、防災に関する工学的専門知識

技能

- ・ものづくりや機械の取扱いに関する技能
- ・航空機操縦、航空機整備に関する技能、防災に関する工学的専門技能

態度

- ・航空機の運航又は防災に関する技術者として必要なコミュニケーション能力、使命感や倫理観を有し、社会に貢献する態度

思考力

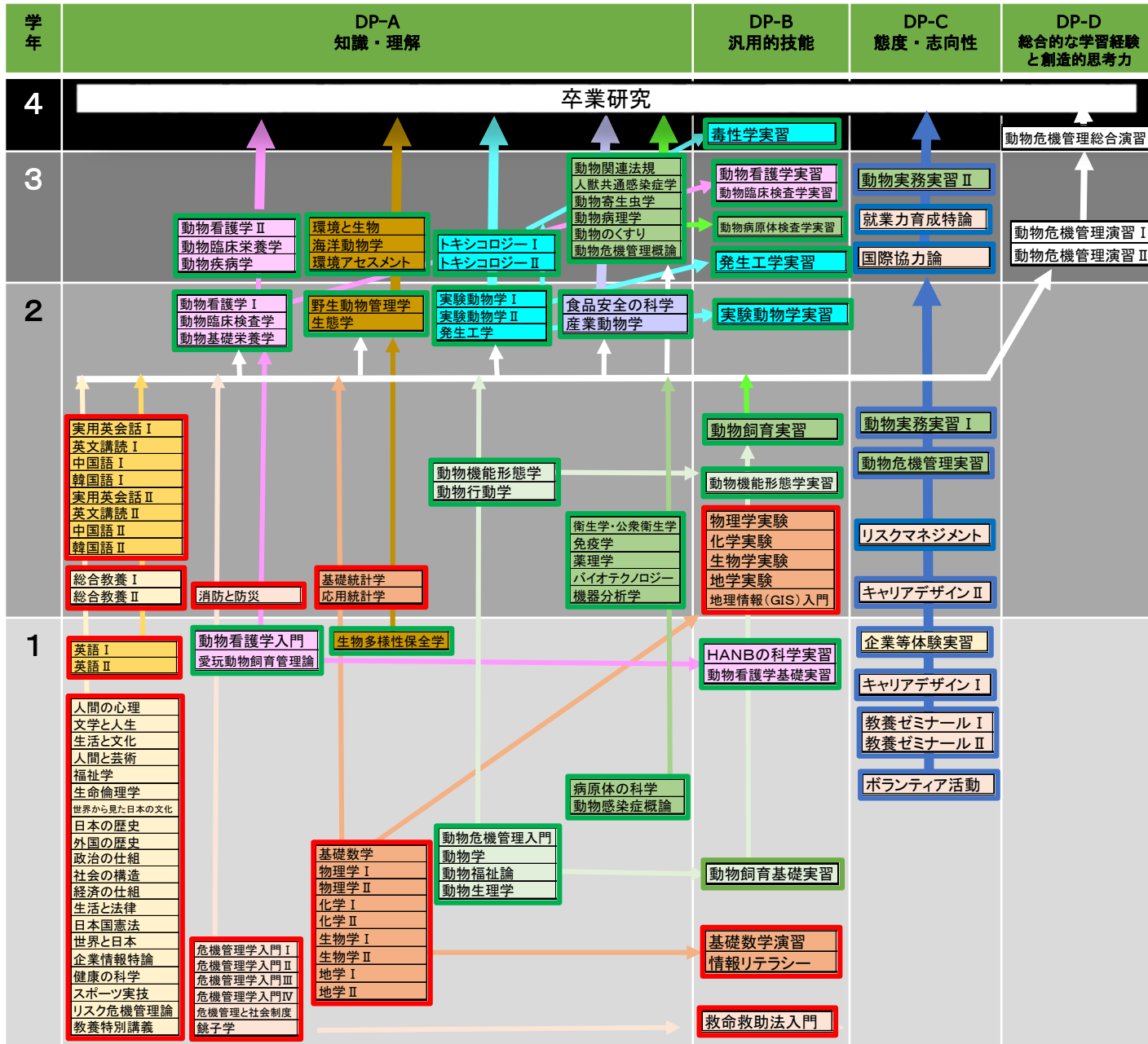
- ・問題に対して、論理的・実践的な解決策を考案する能力

【備考】

1) 図中の下段に記された項目名は、航空技術危機管理学科の学位授与方針(ディプロマポリシー)であり、関与の強い専攻科目を上段にまとめている。

2) 必修科目は全て、選択科目は主要な科目のみを示した。なお、◎印は必修科目である。

千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科・カリキュラムツリー



A. 知識・理解

危機管理の素養を身につけ、家庭動物(ペット等)、野生動物、実験動物、産業動物等、多様な動物に関する専門知識を有し、人と動物の共存・共生の在り方を理解できる。

B. 汎用的技能

多様な対象動物に関する専門知識に基づき、さまざまな場面において危機管理を実践するために必要な技能を有する。

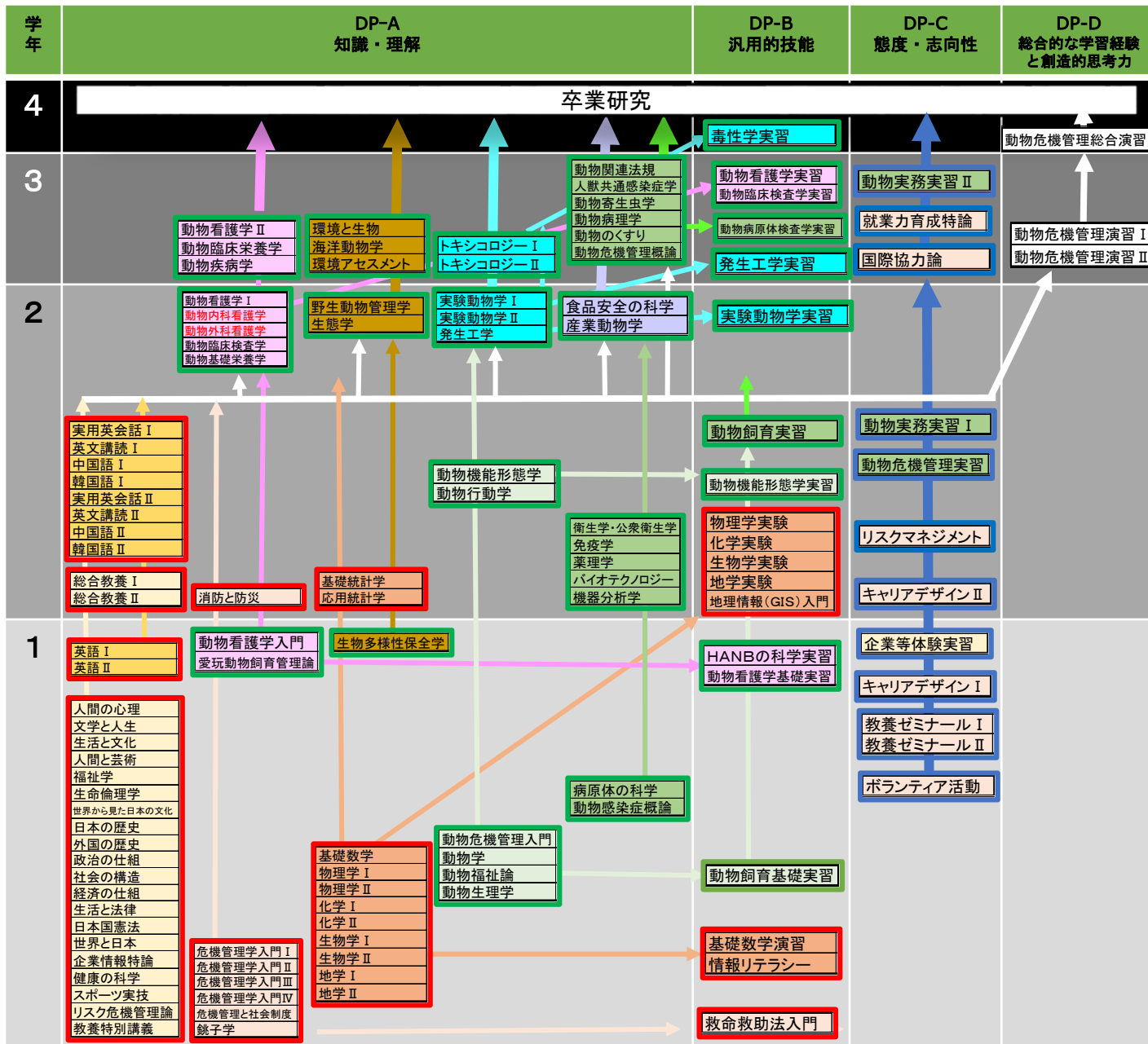
C. 態度・志向性

動物に関する専門分野の知識と技能を応用し、生命科学と動物福祉に基づき人と動物の共存・共生を実現するために必要な行動ができる。

D. 総合的な学習経験と創造的思考力(自らが立てた新たな課題を解決する能力)

多様化した人と動物の共存・共生に関して生じる課題に対して、危機管理の観点からPDCA(plan-do-check-act)等の手法を用いて解決する方法を構想できる。

千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科・カリキュラムツリー(新)



A. 知識・理解

危機管理の素養を身につけ、家庭動物(ペット等)、野生動物、実験動物、産業動物等、多様な動物に関する専門知識を有し、人と動物の共存・共生の在り方を理解できる。

B. 汎用的技能

多様な対象動物に関する専門知識に基づき、さまざまな場面において危機管理を実践するために必要な技能を有する。

C. 態度・志向性

動物に関する専門分野の知識と技能を応用し、生命科学と動物福祉に基づき人と動物の共存・共生を実現するために必要な行動ができる。

D. 総合的な学習経験と創造的思考力(自らが立てた新たな課題を解決する能力)

多様化した人と動物の共存・共生に関して生じる課題に対して、危機管理の観点からPDCA(plan-do-check-act)等の手法を用いて解決する方法を構想できる。